



BNI 三重リージョン ニュースレター

【2017年10月号】

【BNI公式ポッドキャストより】

ビジネスを立ち上げた理由

By Dr.Ivan Misner

今日は先週のポッドキャストに続く内容です。先週のポッドキャストの中で取り上げてくれた話題です。今までに一度も話したことがなかったものです。先週の質問の内容はビジネスをしている動機、なぜ現在しているようなことをしているのか、ということです。そうしたら、自分の場合はロメロ先生の話につながります。高校時代の先生です。

先週のポッドキャストで、この話をまだしたことがなかったと気づきました。とても大事な話です。私がどうして今のようなことをしているのか。つまり、私のエモーショナル・チャージド・コネクション (ECC) です。経営者として、「なぜ」ビジネスをしているのか、ということはとても大事です。このポッドキャストを聴いている皆さんには、しっかり考えてもらいたいと思います。ビジネスにおいて、この「なぜ」を見つけるのは一番大事なことです。自分が情熱を持ってビジネスをしている理由です。この「なぜ」を理解していないと、ビジネスを充実させ、経営者としての夢、あるいは個人としての夢を叶えることはできません。

「なぜ」は、良いことであれ悪いことであれ、多くの場合、自分の周りの誰かがした行為と結びついています。結びつくのは悪い経験かもしれませんが。私の場合は良い経験です。悪い経験が良い経験に繋がったものです。自分の人生に現れた人物と結びつくことが多くあります。コーチかもしれませんし、先生かもしれません。自分の叔母かもしれませんし、スピリチュアルなメンターやプロのメンターかもしれません。自分の人生に影響を及ぼした人物です。往々にして、若い時に会った人物でしょう。そのような人物には若い時に会うことが多いものです。よく思い出してみてください。

大人になってからかもしれませんが、ありがちなのは若い頃です。私にも人生に変化を

もたらしてくれた人たちがいます。私の人生を大きく変えてくれた一人ですが—高校生になった最初の年に、南カリフォルニアのグラッドストーン・ハイスクールでロメロ先生に出会いました。ロメロ先生は歴史を教えていましたが、1年生の生徒代表は、そのクラスから選ばれることになっていました。私は中学校の時、何度も生徒会に立候補しましたが、その度にこてんぱんにやられていました。選挙結果はどれも屈辱的で、癒しがたい心の傷を残しました。それでも、高校に行く頃には「生徒会に何があっても絶対に立候補しないと」と心に決めていました。絶対に、です。

高校に入って最初の週に、歴史のクラスでロメロ先生が言いました。「今年は歴史のクラスから1年生の生徒代表を選ぶことになっている。誰か立候補したい生徒はいないか。やってみようか？」。誰も手を挙げません。誰もです。しばらくして、クラスで一番かわいくて人気のあった女子生徒が立ち上がって言いました。「ロメロ先生、私がやったらいいのかもしれませんが、とても忙しいのです。チアリーダーをやっていますし、時間が取れません」。ロメロ先生はその生徒を見て言いました。「ありがとう、シンディー。座ってください。もし誰もやりたがらないのなら、私が選ぶことになる。代表を選ぶ権限は私にあるからね。それでもいいですか？私が選んでも」。生徒は揃って言いました。「もちろん。誰でもいいので選んでください」。ロメロ先生はクラスを見渡しましたが、私のところで視線を止めました。私を見て、こう言ったのです。

「アイヴァン、やってみようかと思ってるんじゃないか。全員、立候補しようと思ったからできたのに手を挙げなかった。任命権は私にある。アイヴァンを指名しよう。アイヴァンが生徒代表だ。では、テキストの第2章を開けなさい。」そして、授業が始まりました。クラス中、不平不満だらけでした。にもかかわらず、ロメロ先生の決定が覆ることはありませんでした。私は生徒代表になったのです。先生は、どういうわけか私ができると思っていました。私は大きな深呼吸を一つして、心に決めたのです。先生が正しかったことを証明するために、あらん限りの努力をします。チャンスを掴んだわけです。与えてもらったチャンスです。それに全力で応えようと。

その年の終わりに生徒会の選挙がありました。2年生の代表を、また同じクラスから選ぶことになりました。進級に備え、前もって代表を決めるためです。私は二度としないと誓ったことを、もう一度やろうと心に決めていました。私が生徒代表に選ばれた時、声高に非難した同じクラスで、生徒会に立候補しました。皆、私に投票しました。圧勝です。実は、その後、高校の選挙では負け知らずでした。生徒会、アクティビティー・ディレクター。3年生の時には、生徒会長でした。どの選挙も勝てたのです。

全てはロメロ先生が私の中に何かを見出してくれ、チャンスをくれたことから始まりま

した。見出してくれたのは、自分では見つけられなかったものです。そして、この機会を足掛かりに、私はリーダーシップを身につけ、責任というものについて学びました。高校在学中、ずっと携わることになった学校のプロジェクトを通じて学んだことです。ロメロ先生は私に成功体験の機会を与え、私の人生に大きな影響をもたらしました。大変な仕事をしたわけではありませんが、ドアを開け、チャンスをくれたのです。

何年も経って、この経験がとても貴重なものだったことに気がきましたが、自己形成に及ぼした影響の大きさは知る由もありませんでした。数年前、リファール・インスティテュートのセミナーに参加して、初めて気がついたのです。私がずっとしてきた仕事は、ロメロ先生が若いころの私にしてくれたことそのものだったのだと。

自分のエモーショナル・チャージド・コネクション (ECC) —なぜ自分が現在していることをしているのか—を振り返ってみて初めて、私が書いた全ての本、やってきたビジネスが、たくさんの人に成功するチャンスを与えるためのものだ、ということに気がきました。そういう人たちが、人生で成し遂げたいものを成し遂げるためのチャンスです。

私が、あなたを成功させることはできません。このポッドキャストをお聴きの皆さん、私が誰かを成功させることは、できないんです。私は、あなたを成功させることはできません。それができるのは、あなただけです。でも、そのための仕組みを示すことはできます。夢を成し遂げるための機会は提供できます。いろいろな意味で、私はロメロ先生がしてくれたことを、今度は他の人に対してしようとしています。でも、数年前まではそれをしっかり認識していませんでした。自分の「なぜ」に向き合った結果です。

「なぜ」を理解するのは経営者としてとても大事なことです。自分がやっていることに、情熱を持って取り組んでいる理由です。自分の「なぜ」を知らないと、ビジネスに対する熱意をはっきりと伝えられず、自分にとってそのビジネスがどれだけ大事なのか、説明できません。それを分かってもらえたら、あなた自身を分かってもらえます。あなたのことを分かってもらえたら、リファールを出してもらえます。これが、自分の「なぜ」を理解することが大事な理由です。

人生やビジネスである程度成功した人を見ると、自然とそうなった、ラッキーだった、悩んだことはなかった、と感じてしまう人がたくさんいるようです。私は、悩むこともなく大きな成功を取めた人を見たことがありません。成功は逆境に打ち勝つことで持続できるものです。どこかの時点で逆境に打ち勝つ力を身につけなければなりません。

高校に入った時には、決して目立つ生徒ではありませんでした。でもその後、機会を得

て、そうなれたわけです。自分を信じて、やりたいことがやれる機会をもらいました。そして、そこで力を発揮して生徒にも一目置かれるようになりました。「人気のある生徒じゃないけど、頑張っているな。もう一度、彼に投票しよう。」と。そういった機会を、その後何度も何度ももらうことができました。でも、ここが全ての原点です。

このポッドキャストを聴いている皆さん、少し時間を取ってください。そして、今までの人生を振り返って、よく考えてみてください。表面的にではなく、考えを深く巡らせて、なぜ現在しているようなことをしているのか、答えを見つけてください。それを、しっかり伝えれば伝えるほど、あなたの人となりを理解してもらえます。

あなたの人となりをわかってもらえたら、エモーショナルリー・チャージド・コネクション (ECC) もしっかり作れるようになるでしょう。あなたの人物像、今のビジネスをしている理由を理解してもらう時に、気持ちの部分でつながることができるようになります。

【BNI 三重リージョンニュース】

現在、カリフォルニア州ロングビーチにて BNI トレーニングを受講しております。前半2日間のトレーナーはロビンさん。トレーニングは違えど、3年連続でロビンさんです。今回のトレーニングでは

- ・プレゼンテーションの技法
- ・受講者の記憶に残るトレーニング手法
- ・ストーリーを語ることによって記憶への定着を図る方法
- ・視覚へ訴えるための補助ツールについて
- ・心理学を活用した学びについて

などを学びました。

詳しくは11月15日のメンバーズフォーラムでお伝えしますので、ご参加の方は楽しみに！！

【BNI 三重リージョン ディレクターより】※こちらも10月号は坪井が担当します
今回で8回目のグローバルコンベンション (GC) 参加となります。

- 1回目 (2010年) オレンジカウンティ (カリフォルニア州)
- 2回目 (2011年) ロングビーチ (カリフォルニア州)
- 3回目 (2012年) オレンジカウンティ (カリフォルニア州)
- 4回目 (2013年) ロングビーチ (カリフォルニア州)
- 5回目 (2014年) ロングビーチ (カリフォルニア州)

6回目（2015年） ロングビーチ（カリフォルニア州）

7回目（2016年） オレンジカウンティ（カリフォルニア州）

8回目（2017年） ロングビーチ（カリフォルニア州）

であったと記憶しております。今まではロングビーチとオレンジカウンティの繰り返しでしたが、2018年11月にバンコク（タイ）で開催されます。2014～2015年頃まではBNIアメリカのメンバー数がBNIワールドのメンバー数の過半数を占めていたため、アメリカ国内でGCを開催してまいりました。ただ、現在は22万人のメンバーのうち、アメリカのメンバー数が8万人強と半数以下となりました。（アメリカのメンバー数はほぼ横這いのため、それ以外の国でメンバー数が伸びております。）近年、BNIは更に世界的組織になってきたということでしょう。

今回受講したGC前のトレーニングでも10カ国から参加者がおり、BNIは世界的組織なのだと再認識しております。皆様も海外旅行のついでに現地のチャプターを訪問してはいかがでしょうか。<http://www.bni.com/> → チャプター検索 で該当地域のチャプターを簡単に探せます。私におっしゃっていただいても探すことができますので、是非お声がけ下さい。新しいビジネスの扉が開けるかもしれません！！

【編集者より】

現在のアイヴァン博士の姿からはとても想像できない高校時代の姿。一人の先生が与えてくれたキッカケから、大きく人生が変わったのですね。ただ、この与えられたチャンスに精一杯応えたいと努力したからこそ、現在の仕事に繋がっているのでしょうか。とても素敵なお話でした！皆様が今の仕事を選んだキッカケは、一体何だったのでしょうか？

【なぜ】の答えを思い出してみてもいいでしょうか。